

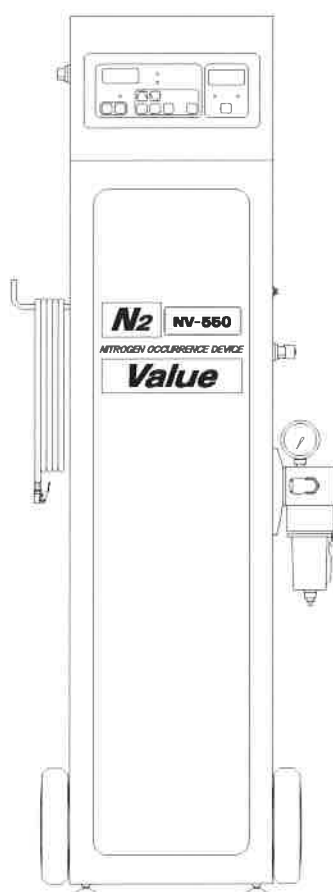
取 扱 説 明 書

NITROGEN OCCURRENCE DEVICE

N₂ | Value

NV-275/275N

NV-550/550N



※取扱説明書が現品と異なる場合は、販売会社まで請求してください。



警 告

製品を使用する前に必ず取扱説明書をよく読み、充分理解してから使用してください。
この取扱説明書はいつでも使用出来るように大切に保管してください。



小野谷機工株式会社

目 次

1. まえがき	1
2. 使用目的	1
3. 危険・警告・注意事項	1
(1) 警告ラベル貼付位置・内容	2
(2) 設置上の注意	4
(3) 一般的な注意事項	4
4. 各部の名称	5
(1) 各部の名称	5
5. 取り扱い方法	6
(1) 始業点検	6
(2) 準備作業	7
(3) タイヤへの自動充填作業	7
(4) 自動充填作業の緊急停止	7
(5) タイヤ内圧力のチェック	7
(6) タイヤ内圧力の強制減圧(排気)	7
(7) 補助充填機能	8
(8) L T-H I 機能	8
(9) 特殊タイヤの充填方法	8
(10) タイヤ内窒素濃度測定	8
(11) 高濃度充填について	9
6. 調整方法	9
(1) 自動充填機の調整	9
(2) 窒素濃度調整	10
7. 安全対策とエラー表示	10
8. 定期点検	12
9. 故障と処置	13
10. 仕 様	13
11. 製品保証規定	14
(1) 保証規定	14
(2) 保証請求方法	14
(3) アフターサービスについて	14
(4) 設置(据付)及び移設について	14

1. まえがき

この度は弊社の窒素ガス充填装置「チッソバリュー」をお買上頂き誠にありがとうございます。

本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を注意深く読みよく理解してからご使用ください。取扱説明書に記載されている注意事項および使用方法をよくご理解いただかないと本機の適正な能力を発揮できないばかりか、人身事故やタイヤ・ホイールの損傷につながりますので、充分ご理解のうえ正しくご使用ください。

なお、取扱説明書・注意ステッカー等は大切に保管・貼付していただき、万一紛失、汚損された場合には速やかにご購入の上、正しく保管・貼付してください。

2. 使用目的

本機は、簡単操作でTB～PC用タイヤに窒素ガスの充填を行うことのできる自動車整備用窒素ガス充填装置です。

3. 危険・警告・注意事項



警 告

この取扱説明書では「**危険**」「**警告**」「**注意**」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は、安全作業のために重要な事柄です。

人身事故や財物損害防止のため重要な事柄が記載されていますので、必ず理解してからご使用してください。



危 険

……取扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。



警 告

……取扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う恐れが想定される場合。



注 意

……取扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合。

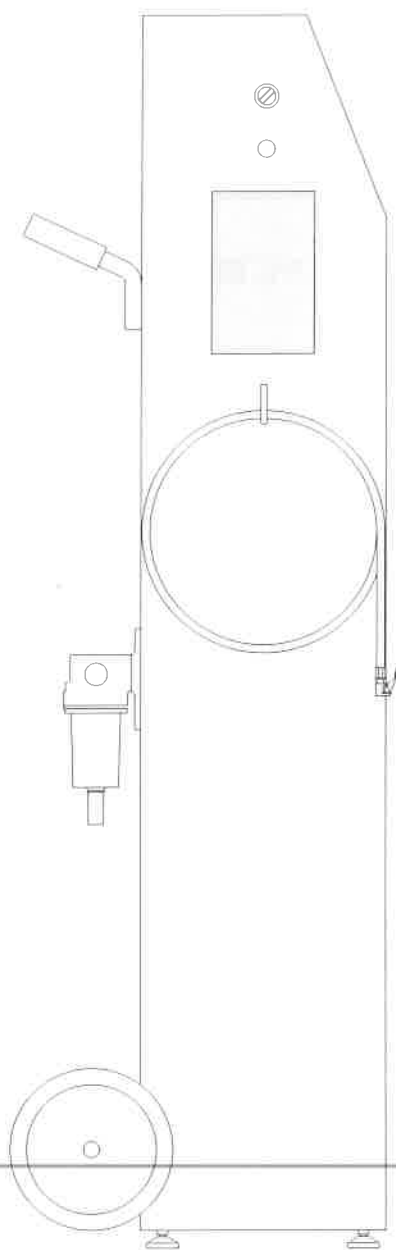
(1) 警告ラベルの貼付位置・内容



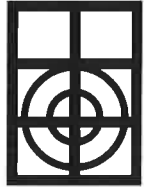
注 意

警告ラベルは大切に使用してください。万一紛失、汚損された場合は速やかに購入の上、正しく貼り付けしてください。

警告ラベル貼付位置



警告ラベル内容

 警 告		ここに示されている警告事項に窒素ガス発生機の取り扱いタイヤへの充填方法が誤った場合に、使用者が怪我を負う可能性が想定される事柄です。 警告ラベルがはがれや汚損された場合、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付してください。
		
エアの入れすぎ禁止 指定空気圧を確認し、入れすぎないこと。バーストにより重大事故につながる可能性があります。	安全囲いをする バーストなどの重大事故時の危険防止の為、堂々安全衛生法によって安全囲いが義務づけられています。	
		
充填用チャックは確実に 充填用チャックをバルブにかみ込ませないと、チャックがはずれ充填用ホースが飛び怪我の可能性があります。	窒素ガス吸引禁止 窒息する可能性があり、直接吸引しないこと。	
		
分解禁止 感電やケドなどの危険性があります。	取扱説明書をよく読み、理解した上で使用すること。 誤操作により思わぬ事故の可能性があります。	

労働安全衛生法について

労働安全衛生法の労働安全衛生規則の第328条の2に於いてタイヤの空気充填作業を行うときは安全囲いの使用が義務づけられています。

タイヤの空気充填作業の基準

第328条の2 事業者は、自動車(2輪自動車を除く)用タイヤ(以下この条において「タイヤ」という)の組立てを行う場合において、空気圧縮機を用いてタイヤに空気を充填する作業を行う時は、タイヤの破裂等による危険を防止する為、当該作業に従事する労働者にタイヤの種類に応じて空気の圧力を適正に調節させ、及び安全囲い等破裂したタイヤ等の飛来を防止するための器具を使用させなければならない。(根 20(1))

2 前項の作業に従事する労働者は、タイヤの種類に応じて空気の圧力を適正に調節し、及び同項の器具を使用しなければならない。(根 26)

(2) 設置上の注意

- ①風・雨・直射日光は避けてください。
- ②電源はAC100Vです。絶対に200V電源を使用しないでください。内部の電気部品を壊す恐れがあります。
- ③充填用のホース長を変更する場合は、最大10mです。これを超えて使用すると正確な圧力の測定が出来なくなり、正常に作動しません。

(3) 一般的な注意事項

- ①タイヤ充填以外の目的で使用しないこと。
- ②操作の訓練を受けた人以外は使用しないこと。
- ③本機を濡れた状態で使用しないこと。又濡れたタイヤは水気を切ってから作業すること。
- ④供給エアはドレンや油分のない正常な圧縮空気を供給ください。
- ⑤供給エアの圧力は1.4MPaを越えないように注意ください。部品の寿命を低下させるばかりでなく、破裂の危険があります。
- ⑥タイヤに充填した窒素ガス(N₂)を排気する場合、窒素ガス(N₂)は酸欠の恐れがあるため換気のよい場所で使用し、直接排気ガスを吸わない様注意ください。
- ⑦充填チャックは確実に取り付けること。
- ⑧フィルターセットの分解を行う際は、供給エアを外すこと。
- ⑨電気配線の変更などを行う際は、関係する国の規則および地方の電気設備に関する規則に従って、認可された電気技術者が行うこと。

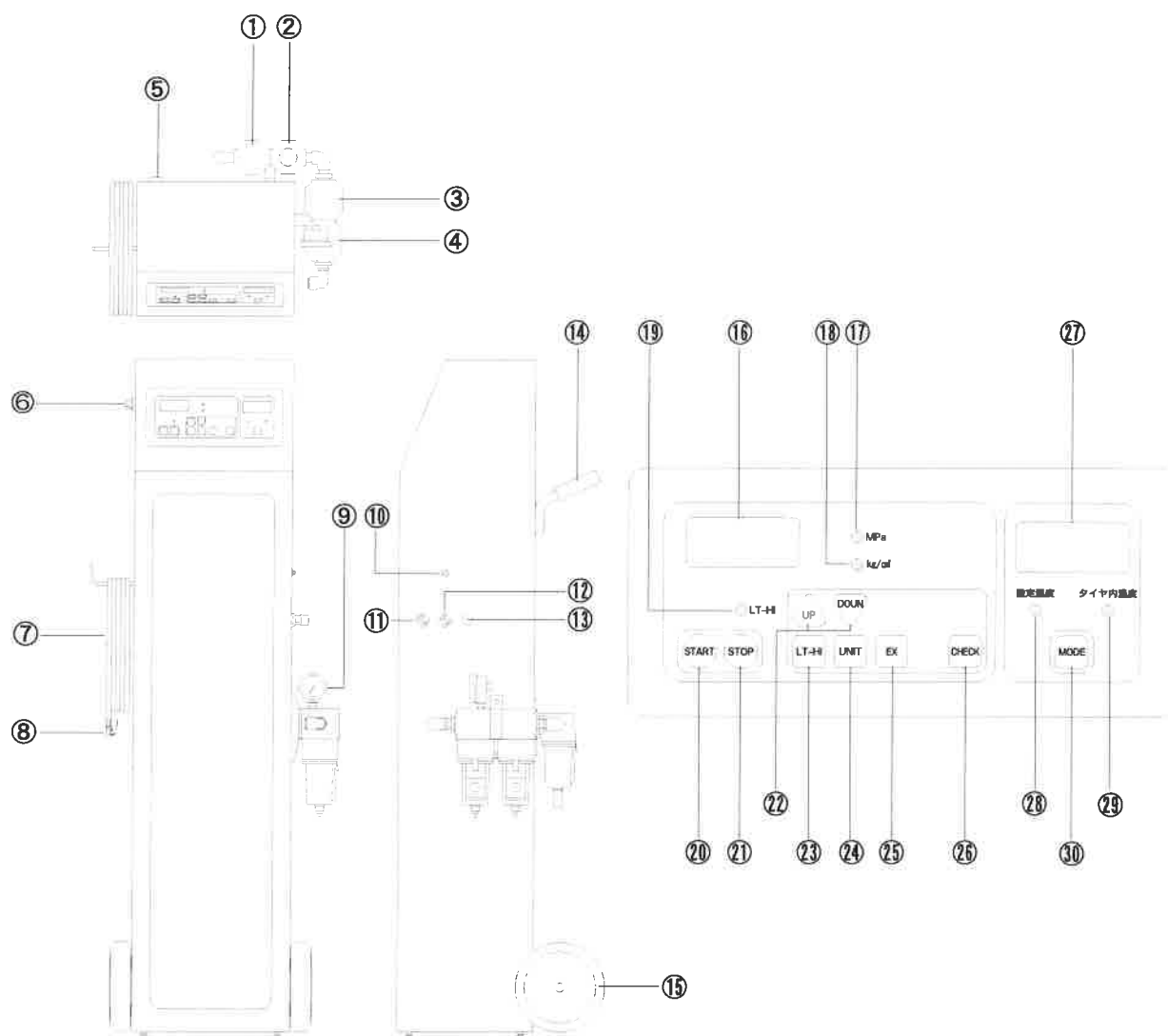


注 意

充填作業には危険が伴います。本機は2重3重の安全対策を行っていますが、人為的なミスや突発的な故障に全て対応できるわけではありません。
しかしながら、こういう万が一の場合を考えて警告事項で述べている当社製のセフティケージなどの安全囲い物を使用してください。
またタイヤへの充填作業中は、充填中のタイヤから離れてください。

4. 各部の名称

(1) 各部の名称



- | | | |
|-----------------|----------------------------|--------------------|
| ① エアフィルター | ⑪ エア供給スイッチ | ⑳ 自動充填STOPボタン |
| ② レギュレーター | ⑫ HIGH/LOW 切替スイッチ(※) | ㉑ UP/DOWN(圧力設定)ボタン |
| ③ エアフィルター | ⑬ 窒素濃度調整バルブ | ㉒ LT-HIボタン |
| ④ オイルミストフィルター | ⑭ キャスターハンドル | ㉓ UNIT(単位切替)ボタン |
| ⑤ 窒素取出口 | ⑮ キャスター | ㉔ EX(強制排気)ボタン |
| ⑥ 表示電源スイッチ | ⑯ 圧力表示 | ㉕ タイヤ内圧CHECKボタン |
| ⑦ 充填用ホース | ⑰ MPa選択ランプ | ㉖ 窒素濃度表示 |
| ⑧ 充填チャック | ⑱ kg/cm ² 選定ランプ | ㉗ 設定窒素濃度選択ランプ |
| ⑨ 差圧計 | ㉑ LT-HI選定ランプ | ㉘ タイヤ内窒素濃度選択ランプ |
| ⑩ 濃度表示エラー解除スイッチ | ㉒ 自動充填STARTボタン | ㉙ 窒素濃度表示MODE切替ボタン |

※ ⑫はNV-550/550Nのみとなります。

5. 取り扱い方法

窒素ガス充填装置「チツソバリュー」はTB～PC用タイヤに窒素を充填するために設計されています。タイヤに窒素充填を行う場合は、破裂事故などを防止するために圧力をできる限り徐々に増加させ、固いタイヤや使用済タイヤ等でタイヤビードがなかなかシートしない場合は、特シート部に注意をそそぎながら慎重に作業をおこなってください。この時にタイヤメーカーの指定するビードシーティング(着座)圧力を越えてはなりません。シーティング圧力に達したところで、タイヤのリムラインが、リムフランジに対して正しくシーティングしていることを確認してください。

決してタイヤメーカーの指定した最終圧力（最高調整圧力とも呼ばれる）を越えてはなりません。



危 険

タイヤの窒素充填の時は常に、いかなる人身の損傷および物質の損害も起こさないようにするために、国およびタイヤメーカーの定めるガイドライン並びに安全基準を遵守してください。



危 険

窒素を充填する前に、タイヤおよびリムに損傷のないことを確認してください。



危 険

ビードシート圧および最高圧は、タイヤメーカーの定める圧力を越えてはなりません。



注 意

充填チャックは確実に取り付けてください。

(1) 始業点検

毎日、作業前に必ず始業点検を行ってください。

- ①本機本体に外観上の異常(変形・破損・摩耗等)はないか。
- ②フィルターにドレンが溜まっていないか。
- ③差圧計の針がレッドゾーン付近を指していないか。



注 意

使用前には必ずエアーフィルターのドレンを抜いてください。ドレンが本機内部のバルブおよび窒素分離膜に回ると誤作動（エラーの発生）やバルブおよび窒素分離膜の損傷・汚染の原因となります。

(2)準備作業

- ①本体後部のエア供給口にコンプレッサーからのエアを接続してください。
- ②電源コードのプラグを接続してください。
- ③表示電源スイッチを「ON」位置にしてください。
- ④エア供給スイッチを「OPEN」位置にしてください。
- ⑤コンプレッサー能力に応じ、HIGH-LOW切替スイッチを切替えてください。(BSⅡのみ)
- ⑥ 6項(2)の窒素濃度調整を参照し、窒素濃度調整を行ってください。



注 意

エア供給スイッチが「OPEN」にされている状態では、必ず本機へエア供給を行ってください。
窒素分離膜の損傷に繋がります。



注 意

窒素濃度の表示値は、表示電源投入後 数秒の自己校正を行い、その後測定を開始しますので、その間は正常値を示しません。

(3)タイヤへの自動充填作業

- ①充填したい圧力を、**UP** **DOWN** ボタンで設定します。
- ②充填チャックをホイールのバルブ口に確実に接続してください。
- ③**START** ボタンを押すと、充填を開始します。
設定圧よりタイヤ内圧が高い場合は、排気を開始します。
※ この際、窒素濃度表示が「タイヤ内濃度」モードになっている場合は、強制的に「設定濃度」モードに切替わります。
- ④設定圧にタイヤ圧力が達しますとブザーがなり、充填が終了します。
※ブザーがなっている際に**STOP** ボタンを押しますと、ブザー音が止まります。

(4)自動充填作業の緊急停止

タイヤへ自動充填を行っている際に、圧力設定ミスやタイヤの異常の場合など、緊急に充填を停止させる場合には**STOP** ボタンを押して下さい。充填を停止し待機状態となります。

(5)タイヤ内圧力のチェック

充填チャックをホイールのバルブ口に確実に接続し **CHECK** ボタンを押すことにより、圧力表示部が一定時間タイヤ内圧力を表示します。

(6)タイヤ内圧力の強制減圧(排気)

充填チャックをホイールのバルブ口に確実に接続し **EX** ボタンを押すことにより、タイヤ内の圧力を強制減圧(排気)します。

STOP ボタンを押しますと、**EX** モード解除となります。

(7)補助充填機能

タイヤ内圧が0.1 MPa以上あり、タイヤ内圧と設定圧力の差が0.02 MPa以上、0.2 MPa以内ならば、充填圧を設定し充填チャックをホイルのバルブ口に接続するだけで、自動充填を開始します。

(例) タイヤ内圧0.65 MPaで、設定圧力0.8 MPaの場合 → 補助充填可能

タイヤ内圧0.09 MPaで、設定圧力0.2 MPaの場合 → 補助充填不可

但し、緊急停止やエラーが発生時に **STOP** ボタンを押した後は、上記の補助充填の条件が満たされていても、補助充填を行いません。

しかし、充填完了時のブザー停止のため **STOP** ボタンを押した後は、補助充填を行います。



注 意

補助充填機能は設定圧力1 MPaまでです。それ以上は危険防止のため補助充填を行いません。

(8)LT-HI 機能

LTタイヤに0.8 MPa以上の高圧充填を行う場合、通常操作で自動充填を行いますとエラーが発生します。

LTタイヤに0.8 MPa以上の高圧充填を行う場合には、**LT-HI** ボタンを押した後に **START** ボタンにて自動充填を行ってください。

※ 設定圧力が0.8 MPa未満の場合は、**LT-HI** ボタンを押しましても通常充填を行います。

LT-HIモードを解除するには、もう一度 **LT-HI** ボタンを押してください。

(9)特殊タイヤの充填方法

ORタイヤのように大径タイヤに充填を行う際、エラーが発生する場合があります。

このような場合、充填圧力設定後に **STOP** ボタンを2秒以上長押ししますと、圧力表示部に **OPP** と表示され、特殊充填モードに切り替わります。

(10)タイヤ内窒素濃度測定

① 充填チャックをホイルのバルブ口に確実に接続してください。

② 濃度表示部の **MODE** ボタンを押し、タイヤ内濃度ランプを点灯させてください。

濃度表示が安定した値が、タイヤ内窒素濃度です。



注 意

タイヤ内濃度測定中、タイヤ内の圧力は微少量ずつ低下していきます。
タイヤ内濃度を測定した後は、必ずタイヤ内圧力チェックを行ってください。

(11)高濃度充填について

PC用タイヤに高濃度充填を行う場合には、タイヤ内のエアを一旦窒素ガスに置き換え、排出してから再度充填を行います。この作業により1回充填よりも高濃度の充填が行えます。

- ①バルブコアを抜き取り、タイヤ内のエア圧力を抜きます。(大気開放)
- ②窒素ガスを規定圧まで充填します。
- ③タイヤ内の窒素圧力を抜きます。(大気開放)
- ④バルブコアを取り付けます。
- ⑤再度、窒素ガスを規定圧まで充填します。

※上記充填作業により、通常1回充填よりも3～4%程度タイヤ内の窒素濃度が濃くなります。

※TB用タイヤ等の高圧充填の場合は、1回充填のみで高濃度充填となります

6. 調整方法

(1)自動充填機の調整

自動充填を行った際に、設定した圧力と実際のタイヤ内圧力が異なっている場合下記の調整を行ってください。

①ゼロ調整

- ①表示電源スイッチが「ON」の場合は、「OFF」にしてください。
- ②充填チャックを解放状態にしてください。
- ③ **STOP** ボタンを押しながら表示電源スイッチを「ON」にしてください。
- ④圧力表示部に **P-** と表示されます。
- ⑤ **UNIT** スwitchを押すと表示が **P-0** となり、その後 **C-0** となるまで待ちます。
- ⑥ **C-0** となりましたら、**STOP** スwitchを押し終了です。

②スパン調整

- ①表示電源スイッチが「ON」の場合は、「OFF」にしてください。
- ②タイヤ内圧力がわかっているタイヤに、充填チャックを接続してください。
- ③ **STOP** ボタンを押しながら表示電源スイッチを「ON」にしてください。
- ④圧力表示部に **P-** と表示されます。
- ⑤ **EX** スwitchを押すと表示が **P-1** となり、その後 **C-1** となるまで待ちます。
- ⑥ **C-1** となりましたら、②のタイヤ内圧力を **UP** **DOWN** スwitchで入力し、**STOP** スwitchを押し終了です。



注 意

スパン調整は必ず単位をMPaで行ってください。(kg/cm²には対応していません)
マスターゲージでタイヤの圧力を測定し、0.8MPaで調整してください。

(2)窒素濃度調整

窒素ガス濃度(発生量)の変更を行う際には、下記の要領にて調整を行います。

- ①本体後部のエアー供給口にコンプレッサーからのエアーを接続してください。
- ②電源コードのプラグを接続してください。
- ③表示電源スイッチを「ON」位置にしてください。
- ④エアー供給スイッチを「OPEN」位置にしてください。
- ⑤コンプレッサーに応じ、HIGH-LOW切替スイッチを切り替えてください。(BSⅡのみ)
- ⑥ **CHECK** ボタンを押しながら **UP** ボタンを押し、圧力表示を **CA-1** と表示させることにより、充填チャック部から窒素が開放状態となります。
- ⑦窒素濃度表示が安定したところで、数値を確認してください。
- ⑧窒素濃度調整バルブを使用し、窒素濃度の調整を行ってください。

時計回転……………高濃度

反時計回転……………低濃度

※窒素濃度調整バルブを回転後、調整濃度が表示されるまで若干のタイムラグがあります。濃度変化が終了しますまで少々お待ち下さい。

- ⑨ **STOP** ボタンを押し終了です。

7. 安全対策とエラー表示



注 意

充填作業には危険が伴います。本機は2重3重の安全対策を行っていますが、人為的なミスや突発的な故障に全て対応できるわけではありません。しかしながら、こういう万が一の場合を考えて警告事項で述べている当社製のセフティケージなどの安全囲い物を使用してください。またタイヤへの充填作業中は、充填中のタイヤから離れてください。



注 意

これらはPCタイヤに誤って高圧充填することを防ぐ為のエラー判定ですが、タイヤの大きさやバルブと充填チャックのかみ合いの不具合によっても、タイヤの圧力上昇は左右される為に、100%のエラー判定は保証できません。誤ってPCタイヤに高圧充填しないように充分注意してください。

【 圧力表示部 】

自動充填中にエラーが発生した場合、ブザー警告とともに圧力表示部に下記エラーが表示され、自動充填がストップします。

エラー表示の解除は **STOP** ボタンを押すことによりブザー音がなり解除されます。

E-H 圧力上昇が大きすぎる場合

例①：PC/LTタイヤに誤って高圧設定し充填した場合

例②：充填チャックの咬み込み不良で、タイヤ内に充填が行えない場合

例③：電磁バルブがドレン等で汚染され不良が発生した場合

E-L 圧力上昇が少なすぎる場合

例①：充填チャックの咬み込み不良で、バルブ口から漏れが発生している場合

例②：コンプレッサーからのエアー供給不良の場合

E-E 電磁バルブ等の不良でエアーが止まらなくなった場合

L-L 圧力が急に低くなった場合

例①：元圧(コンプレッサー圧)が設定圧より低くなった場合

EhL 排気時、排気下降圧が低い場合

例①：排気用電磁バルブの消音マフラーが目詰まり等をおこした場合

EhH 排気時、排気下降圧が大きい場合

例①：充填チャックの咬み込み不良で、タイヤ内圧力を減圧(排気)出来ない場合

例②：充填用ホースの途中に、ねじれや折れが発生している場合

【 濃度表示部 】

HI 濃度センサー周辺に大気中窒素濃度(約79%)より濃い窒素が残存しています。

暫くそのままに放置し、濃度センサー周辺の窒素濃度が大気レベルになれば正常に復帰します

濃度表示について

表示電源の投入時には、毎回自己校正(大気中窒素濃度を測定)を行い、その際濃度センサー周辺が大気中窒素濃度(約79%)にない場合は上記表示を行います。

その為、表示電源「ON」の状態から「OFF」に切り替え、すぐに再度電源「ON」にしますと、濃度センサー周辺に高濃度窒素が充満したままになり **HI** 表示となります。これは自己校正を行っている状態であり故障ではありませんので、この間濃度表示がされていないだけであり、窒素ガスについては正常に発生されておりますので充填作業は正常に行えます。

8. 定期点検

本機を安全に長く使用して頂くための大切な点検項目です。
特に、窒素ガス（N₂）分離能力は、供給エア―管理の状態に大きく左右されます。
定期的に点検を実施してください。



危 険

点検の際電機部品にふれる必要のある場合は、必ず電源を切ってください。
又、元電源を入れたまま電 気部品にふれる必要のあるときには、端子等にふれない様に十分注意してください。
エア系統を点検する必要がある場合は必ず元圧を切り、本機内の圧力が無くなったことを確認してから点検してください。



注 意

カバー等を外して点検を実施した場合は、必ず元通りにすべての取付ねじ等を使用して元に戻しておいてください。
点検の結果、異常と思われる箇所が発見された場合は、異常箇所の修復を完全に行うまでは本機の使用を禁止して、直ちにお買上げの販売会社に連絡してください。そのままお使いになると本機の破損及び重大な事故につながる危険性があります。

点検期間	点 検 箇 所	点 検 項 目	点 検 要 領
毎 日	フィルターセット	ドレンが溜まっていないか（3種）	ドレン抜きを行う
	差圧計	針がレッドゾーン付近を指していないか	フィルター内エレメント交換
6ヶ月毎	エア―系統	ひび、エア―漏れはないか	調整、交換
	電気系統	ひび、損傷はないか	調整、交換
1ヶ年毎	フィルターセット	フィルターエレメント（3種）	交換



注 意

フィルターセット(3種)内部のエレメントは消耗品です。
1カ年に限らず、差圧計指針がレッドゾーン付近に達している場合は、フィルター内のエレメントを3種とも交換ください。
本点検を怠った場合、本機のパフォーマンス低下および部品の損傷に繋がります。

9. 故障と処置

故障かなと思ったら、修理を依頼する前にもう1度確認してください。

異常が生じた時はこの説明書を再度よくお読み頂き、下記の点検をした上で、それでも不調が改善されない場合はお買い上げの販売会社へご連絡ください。

症 状	原 因	処 置
自動充填	何も表示しない	・ 電源を入れる (元電源ヒューズ・ブレーカー・コンセント等)
	充填圧力が実際圧力と大きく違う	・ 圧力センサーの調整不良 ・ 圧力センサーの不良 ・ 6. 調整方法(1)の調整を行ってください。 ↓ 改善されない場合 ・ 販売会社へご相談ください
濃度表示	何も表示しない	・ 電源を入れる (元電源ヒューズ・ブレーカー・コンセント等)
	 表示が数時間経っても正常に戻らない	・ 濃度測定センサーの寿命です ・ 販売会社へご相談ください
	EE0表示	・ 濃度測定センサーの故障です ・ 販売会社へご相談ください
窒素が発生されない		・ エアーが供給されていない ・ 表示電源スイッチがOFFになっている ・ エアー供給スイッチがSTOPになっている ・ 元エアーの供給源を確認してください ・ ONにする ・ OPENに切り替える

10. 仕 様

商 品 型 式	NV-550/550N	NV-275/275N
対 象 車 種	TB ~ PC	
発 生 方 式	膜分離方式	
窒 素 濃 度	97%以上	
窒 素 発 生 量	HIGH:550L/min LOW:275L/min	275L/min
I N エ ア ー 圧	1.4 MPa	
O U T 窒 素 圧	1.3 MPa	
濃 度 設 定	流量調整ダイヤル式	
供 給	AC100V・エアー	
充 填 圧 設 定	自動充填	
本 体 寸 法	W560×D460×H1525	
本 体 重 量	60kg	55kg
附 属 装 備	・ 自動充填装置 ・ 濃度表示 ・ タイヤ内濃度表示 ・ フィルターセット ・ 窒素取出口 ・ キャスターセット ・ 窒素吐出量切替	・ 自動充填装置 ・ 濃度表示 ・ タイヤ内濃度表示 ・ フィルターセット ・ 窒素取出口 ・ キャスターセット

外観、仕様、付属品は予告無しに変更することがあります。

11. 製品保証規定

(1) 保証規定

取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書に従って正常な使用状態で保証期間内（納入後 1 年以内）に故障した場合は、弊社の責任に於いて無償にて欠陥部品の手直し、修理、取り替え、交換部品の送付をさせていただきます。

但し二次的に発生する損失の補償及び、次の場合に該当する保証はいたしません。

- ①使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠ったために発生した故障及び損傷。
- ②商品の作動機構に悪影響を及ぼす変更（改造）を加え、それが原因で発生した故障及び損傷。
- ③消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
- ④火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変等、外部に要因がある故障及び損傷。
- ⑤指定された純正部品をご使用されなかったことに起因する場合。
- ⑥日本国以外でご使用の場合。
- ⑦保証手続きが不備の場合（例：型式及び機体番号の連絡が無い場合etc）。
- ⑧設置に原因がある故障及び損傷。



注 意

本機は屋外設置および防水仕様になっていないので、錆、腐食、漏電の水による故障は保証いたしません。

(2) 保証請求方法

上記規定に基づき、本製品の保証請求を行う場合は、お買上の販売会社にご一報ください。必要な手続きを実施いたします。

尚、保証の要否は大変勝手ながら弊社において判断させていただきますので御了承ください。

(3) アフターサービスについて

調子の悪いとき	この取扱説明書の9項の故障と処置欄をご覧ください。
それでも調子の悪いときは	商品保証規定に従い修理をさせていただきますので、お買上販売会社へ修理を依頼してください。
保証期間中の修理について	保証期間は納入後12ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理させていただきます。
保証期間後の修理について	お買上販売会社にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望によって有料修理いたします。
アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買上販売会社にお問い合わせください。	
お問い合わせいただく際には、次のことをお知らせください。 型式・機体番号・購入年月日・故障状況(できるだけ詳しく)。	

(4) 設置(据付)及び移設について

本製品の設置（据付）及び移設は、お買上販売会社へ依頼してください。

移設の場合は販売会社による点検を実施してください。

取扱説明書

品 名 窒素ガス充填機 チツソバリュー

型 式 **N2 Value**
NV-275/275N
NV-550/550N

初版発行月日	平成 21 年 2 月 10 日
--------	------------------

改訂発行月日	平成 年 月 日
--------	----------

改訂発行月日	平成 年 月 日
--------	----------

改訂発行月日	平成 年 月 日
--------	----------

編集兼発行者	機 工 技 術 部
--------	-----------

発 行	小 野 谷 機 工 株 式 会 社
-----	-------------------

無断複写・掲載を禁ず。

ONODANI 小野谷機工株式会社

本社／福井県越前市家久町63-1 ☎(0778)22-2124代

営業所／札幌	☎(011)791-8588	名古屋	☎(052)354-1021
仙台	☎(022)255-7408	大阪	☎(06)6701-7315
秋田	☎(018)800-2556	福井	☎(0778)21-0335
東京	☎(03)5970-6011	広島	☎(082)943-8455
新潟	☎(025)281-8251	福岡	☎(092)582-6743

「販売会社又は施工業者の方へお願い」
この取扱説明書は、お客様に必ず渡してください。